



## ISO イメージを使用した VM のプロビジョニング

この章は、次の項で構成されています。

- [ISO イメージを使用した仮想マシンのプロビジョニングについて, 1 ページ](#)
- [ISO イメージのマッピング ポリシー レポートの表示, 2 ページ](#)
- [ISO 用のデータストアのマーク, 3 ページ](#)
- [ISO インベントリの収集, 3 ページ](#)
- [ゲスト OS の ISO イメージマッピング, 4 ページ](#)
- [ゲスト OS ISO イメージマッピング ポリシーを vDC に割り当てる, 4 ページ](#)
- [ISO ベースの VM プロビジョニング用のカタログの作成, 5 ページ](#)
- [ISO ベースの VM プロビジョニングに対するサービス リクエストの作成, 5 ページ](#)

## ISO イメージを使用した仮想マシンのプロビジョニングについて

Cisco UCS Director では、テンプレートから複製する、VM から複製する、ISO イメージを使用して複製する、などの複数の方法で新しい VM をプロビジョニングできます。ISO イメージを使用すると、新しい VM のプロビジョニングおよびゲストオペレーティングシステムのインストールにおいて、他の方法よりも柔軟性が高くなります。

ISO イメージを使用して新しい VM をプロビジョニングする場合は、VM はデータストアにある ISO イメージでプロビジョニングされます。一般規約として、データストアは ISO イメージの保存、環境でのよりよい共有、集中アクセス、およびより良いファイル構成を目的としてのみ使用されます。

Cisco UCS Director では、Cisco UCS Director がデータストアの詳細なインベントリを実行して、データストアに存在する ISO ファイル情報を取得できるように、ISO ホスティング データストア

を識別してタグ付けする必要があります。ISO ファイルのリストを取得したら、ISO マッピング ポリシーを作成して 1 つ以上の ISO を含める必要があります。最後に、ISO マッピング ポリシーは、ISO イメージによる VM プロビジョニングを許可するために VDC コンピューティング ポリシーで選択する必要があります。

Cisco UCS Director では、パブリッシュしたカタログに基づいて、エンド ユーザ ポータルで ISO イメージを使用して VM をプロビジョニングできます。

Cisco UCS Director は、データストアのあらゆるレベルで ISO イメージの集合をサポートします。ISO イメージは、サブフォルダにアップロードされている場合には表示されません。

VSAN データストア内の ISO イメージを含むインベントリは、ISO イメージがルート ディレクトリのサブフォルダに配置されている場合にのみサポートされます。



---

(注) ドット (.) で始まるフォルダは、ISO イメージのインベントリから除外されます。

---

## ISO イメージのマッピング ポリシー レポートの表示

ISO イメージのインベントリに関する総合的な情報を表示するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1 メニューバーで、[ポリシー (Policies)] > [仮想/ハイパーバイザポリシー (Virtual/Hypervisor Policies)] > [サービスの提供 (Service Delivery)] を選択します。
  - ステップ 2 [データストアを ISO インベントリ コレクション用にマーキング (Mark DataStores For ISO Inventory Collection)] タブをクリックします。
  - ステップ 3 関連付けられている ISO イメージマッピング プロファイルを表示するアカウントを選択します。
  - ステップ 4 [詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
-

## ISO 用のデータストアのマーク

- 
- ステップ 1** メニューバーで、[ポリシー (Policies)] > [仮想/ハイパーバイザポリシー (Virtual/Hypervisor Policies)] > [サービスの提供 (Service Delivery)] を選択します。
- ステップ 2** [データストアを ISO インベントリ コレクション用にマーキング (Mark DataStores For ISO Inventory Collection)] タブをクリックします。
- ステップ 3** [ISO用のデータストアのマーク (Mark Datastores for ISO)] をクリックします。
- ステップ 4** [ISO 用のデータストアのマーク (Mark Datastores for ISO)] ダイアログボックスで、マーキングするクラウドとデータストアを選択します。
- ステップ 5** 定期的なアカウントレベルのインベントリごとに ISO インベントリ収集を実行するには、[アカウントレベルのインベントリの取得 (Fetch in Account Level Inventory)] チェックボックスをオンにします。このチェックボックスをオフにした場合、定期的なアカウントレベルのインベントリ収集中に ISO インベントリ収集がスキップされ、定期的なインベントリ収集の時間が短縮されます。  
[アカウントレベルのインベントリの取得 (Fetch in Account Level Inventory)] チェックボックスで、アカウント別の ISO インベントリ収集をオンデマンドでトリガーできます。
- ステップ 6** [送信 (Submit)] をクリックします。
- 

## ISO インベントリの収集

データストアの詳細なインベントリを実行して、ISO ファイルの情報を取得できます。

- 
- ステップ 1** メニューバーで、[ポリシー (Policies)] > [仮想/ハイパーバイザポリシー (Virtual/Hypervisor Policies)] > [サービスの提供 (Service Delivery)] を選択します。
- ステップ 2** [データストアを ISO インベントリ コレクション用にマーキング (Mark DataStores For ISO Inventory Collection)] タブをクリックします。
- ステップ 3** ISO インベントリを収集するアカウントを選択します。
- ステップ 4** [ISO インベントリの収集 (Collect ISO Inventory)] をクリックします。
- ステップ 5** [ISO インベントリの収集 (Collect ISO Inventory)] ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。
-

## ゲスト OS の ISO イメージマッピング

- 
- ステップ 1** メニューバーで、[ポリシー (Policies)] > [仮想/ハイパーバイザポリシー (Virtual/Hypervisor Policies)] > [サービスの提供 (Service Delivery)] を選択します。
- ステップ 2** [ゲスト OS ISO のイメージマッピングポリシー (Guest OS ISO Image Mapping Policy)] タブをクリックします。
- ステップ 3** [追加 (Add)] をクリックします。
- ステップ 4** ゲスト OS イメージのマッピングポリシーを追加するには、[ゲスト OS の ISO イメージマッピング (Guest OS ISO Image Mapping)] ダイアログボックスでフィールドに値を入力します。  
(注) [エンドユーザーにゲスト OS と ISO イメージの選択を許可する (Allow End User to Select Guest OS and ISO Image)] チェックボックスをオンにすると、サービス リクエストを作成するときにゲスト OS と ISO イメージのソースを選択できます。このボックスをオフのままにした場合は、サービス リクエストの作成時にゲスト OS しか選択できません。
- ステップ 5** [送信 (Submit)] をクリックします。
- 

## ゲスト OS ISO イメージマッピングポリシーを vDC に割り当てる

- 
- ステップ 1** メニューバーで、[ポリシー (Policies)] > [仮想/ハイパーバイザポリシー (Virtual/Hypervisor Policies)] > [仮想データセンター (Virtual Data Centers)] を選択します。
- ステップ 2** ゲスト OS ISO マッピングポリシーを割り当てる vDC を選択します。
- ステップ 3** [編集 (Edit)] をクリックします。
- ステップ 4** [vDC の編集 (Edit vDC)] 画面で、[ISO マッピングポリシー (ISO Mapping Policy)] ドロップダウンリストからポリシーを選択します。
- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
-

## ISO ベースの VM プロビジョニング用のカタログの作成

- 
- ステップ 1 メニューバーで、[ポリシー (Policies)] > [カタログ (Catalogs)] の順に選択します。
  - ステップ 2 [追加 (Add)] をクリックします。
  - ステップ 3 [カタログの追加 (Catalog Add)] 画面で、[カタログのタイプ (Catalog Type)] ドロップダウンリストから [標準 (Standard)] を選択します。
  - ステップ 4 [送信 (Submit)] をクリックします。
  - ステップ 5 [カタログの作成 (Create Catalog)] 画面で、[ISO イメージを使用して新しい VM をプロビジョニングする (Provision new vm using iso image)] チェック ボックスをオンにします。
  - ステップ 6 [カタログの作成 (Create Catalog)] ウィザードの残りの画面をすべて設定して、[次へ (Next)] をクリックします。
  - ステップ 7 ウィザードの最後の画面でサマリー情報を確認し、[送信 (Submit)] をクリックします。
- 

## ISO ベースの VM プロビジョニングに対するサービス リクエストの作成

- 
- ステップ 1 メニューバーで、[組織 (Organizations)] > [サービスリクエスト (Service Requests)] の順に選択します。
  - ステップ 2 [リクエストの作成 (Create Request)] をクリックします。
  - ステップ 3 [リクエストの作成 (Create Request)] 画面で、[カタログのタイプ (Catalog Type)] ドロップダウン リストから [標準 (Standard)] を選択します。
  - ステップ 4 [送信 (Submit)] をクリックします。
  - ステップ 5 [サービス リクエストの作成 (Create Service Request)] 画面で、ISO ベースの VM プロビジョニングに対してパブリッシュされたカタログを選択します。
  - ステップ 6 [サービス リクエストの作成 (Create Service Request)] ウィザードの残りの画面で設定を完了し、[次へ (Next)] をクリックします。
  - ステップ 7 ウィザードの最後の画面でサマリー情報を確認し、[送信 (Submit)] をクリックします。
-

